第3回 阿賀野市観光協会設立検討委員会 「会議録」

- 1 日 時 令和7年7月15日 13:30～15:18
- 2 場 所 阿賀野市役所 委員会室（4階）
- 3 委 員 高橋委員長、石塚副委員長、小林和也、荒木風太、齋藤雄介、土井一心太、遠藤和人、五十嵐敏郎、芋川恵里
- 4 事務局 商工観光課：牧野課長、酒井課長補佐、田村係長、浅川主任
阿賀野市商工会：田上室長
- 5 傍聴者 0名

- 6 報告
(1) 第2回観光協会設立検討委員会議事録

- 7 議題
(1) 阿賀野市観光協会人件費の試算について
(2) 観光協会の目的について
(3) 観光案内所の設置について
(4) 観光協会事務室の設置場所について
(5) 観光情報の共有について

- 8 その他

- 9 会議の内容

(会議の公開について)

○職員 会議に先立ちまして、本検討委員会は「阿賀野市審議会等の会議の公開に関する要綱」第3条第1項（公開の基準）にあります、「審議会等の会議は、原則として公開する。」の規定により、公開での開催とさせていただきます。

また、要綱第7条に基づく議事概要は委員の皆さまの氏名を伏せたうえで、発言内容を議事録として公開させていただきます。

このため、委員の皆さまの発言内容を録音させていただきますので宜しくお願い致します。

開会に先立ちまして事務局より委員の変更について報告がございます。

最初に、阿賀野市金融団より選出いただいていました、第四北越銀行西山支店長が異動により、小島支店長に代わります。

また、五頭温泉郷旅館協同組合の理事長が交代となり、角屋旅館の安永俊さんから、湯本館の永松健太郎さんに代わりました。よって、商工会観光部会より推薦いただいていました、永松さんに代わり、湖四季の芋川恵理さんに変更となります。

1 開会

○職員 お疲れ様でございます。本日はお忙しい中ご出席をいただきまして誠にありがとうございます。

ただいまから第3回阿賀野市観光協会設立検討委員会を開催させていただきます。

なお、坂井委員、永松委員からは所用により、本検討委員会を欠席される旨の連絡をいただいておりますので、ご報告申し上げます。

また、新たに委員となりました第四北越銀行の小島委員につきましては来ていませんが、会議の方を進めさせていただきます。

それでは次第に沿って進めさせていただきます。初めに委員長より開会の挨拶をお願いいたします。

2 委員長挨拶

○委員長 この地域、この周辺で独立していないのは阿賀野市だけとなっています。スピード感を持てるという部分がなかなか難しいところですが、次のステップに行くために、ぜひ皆さん方の忌憚のない意見をそのまま反映させるようないい形で今後の観光協会を作らせていただければいいのかなと考えています。

○職員 ありがとうございます。今回新たに委員になっていただいた方もいらっしゃいますので、皆さんから自己紹介をしていただければと思います。

各委員及び事務局自己紹介

○職員 それでは、以降の議事進行につきましては、委員長よりお願いをいたします。

3 報告

(1) 第2回観光協会設立検討委員会議事録

○委員長 報告事項になりますが、事務局よりお願いいたします。

○職員 3報告になりますが、議事録につきましては5月14日付で検討委員の皆様へメールで照会・確認させていただいておりますので、本日の説明は省略させていただきます。

4 議題

(1) 阿賀野市観光協会人件費の試算について

○委員長 議題に入らせていただきます。事務局より説明をお願いします。

○職員 阿賀野市観光協会人件費の試算について説明をさせていただきます。

お手元の資料6ページをご覧ください。また、一番最後のA3版の資料も一緒に見ていただければと思います。

人件費については第2回の検討委員会において、試算をしていただきたいと委員の方から依頼がありました。試算結果を記載させていただいたのが6ページになります。試算をするにあたり、村上市観光協会、栗島観光協会、胎内市観光協会、新発田市観光協会、五泉市観光協会、阿賀町観光協会にアンケートをお送りしました。新発

田市を除く、観光協会から回答をいただき、このアンケートの結果、3協会から事務局の給与について教えていただきました。また、事務局の給与を教えていただくにあたり、観光協会の名前は伏せるという条件のもと、提供いただきましたので、資料においてもA B C Dという形で表現をさせていただきました。

その中から、3観光協会の事務局長、事務局員、臨時職員の給与を用いて試算をさせていただきました。3観光協会の事務局長、事務局員、臨時職員の平均額によって試算をしたものが上の表になります。平均しますと、事務局長で年間390万円、常勤事務局員で261万円、臨時職員で184万円という額になります。そこに人数を掛けて試算しますと、事務局長と常勤事務局員給与が912万円、また臨時職員の賃金が368万円という試算となりました。そこに時間外25%、1日2時間残業した場合を想定させていただきました。そうしますと、時間外手当が320万円。給与と時間外を合わせると、平均額で人件費は年間1,648万円必要になる試算になります。また最低の額でも試算をしました。事務局長が304万円、常勤事務局員で222万円、臨時職員で139万円です。平均額と同じ内容で時間外を足しますと、人件費は1,283万円。

この他に保険とかも必要になりますので職員の給与、臨時職員の賃金、賞与、福利厚生費併せると、年間決算書ベースで2,100万円。回答いただいた各観光協会でも2,000万円前後は人件費として負担しています。

あくまでもこれは試算になりますが、平均額では年間約1,648万円、最低額では年間1,283万円、385万円の差が発生しております。

この検討委員会で収支や業務内容の状況判断をして金額を定めた後、総会で会員からの議決を経て決定する必要があります。

そのため、100%国の補助金で雇用できる地域おこし協力隊を活用し、事務局として3年間務めていただき、その間に観光協会の財源となる事業を見いだしていただければと考えています。

今後はその業務内容を精査した中で、各事務局員の給料額を設定し、予算を確保していく必要があると考えております。

- 委員 長 ありがとうございます。どなたかご意見がありましたらお願いいたします。
- 委員 今回のアンケートをお願いした観光協会はランダムですか？
- 職員 近隣の一般社団法人となって、独立している観光協会を選定しました。
- 委員 観光協会が設立されると、おそらく既存の今まであった商工観光課はおそらく仕事が大分減る。それに伴って商工観光課の職員も減らされると思うが、そういったことはあるのか。
- 職員 可能性はあると思います。当然現在観光係が行っている仕事で、観光協会事業として山開きであったり、色々な祭り、総会、経費の支払いとか。県の観光協会の事務等がなくなるので、観光課の職員が減らされることは間違いないかなと思います。
- 委員 観光課の人件費を半分観光協会の予算にシフトできるのか。
- 職員 そのような形で要望はしたいと思います。
- 委員 他の市町村はどうか。

- 職員 逆の立場からすれば、仕事減ったから人いらぬよねという可能性はあります。
- 委員長 地域おこし協力隊は国からの支援で賃金がある。その人たちが、観光協会に入ったときに賃金に差があるのではないか。
- 職員 昨日、加茂市へ我々が訪問し、そのあたりを確認してきました。職員の給料とか賃金を決めるときには、ある程度地域おこし協力隊の給料を基準として金額を決定したと言っていました。委員長のおっしゃるようなところで差が開くのはうまくないと感じます。
- 委員長 3年間はいいけど、逆に終わってから安いから別なところへ行きますってことでは、キャリアとかもったいない。
- 職員 できれば3年後は残っていただき、そのまま観光協会の事務局として働いていただくのを条件にできるかどうか。
- 委員長 ほかのご意見ございませんでしょうか。次の観光協会の目的について移らせていただきます。事務局からお願いできますか。

(2) 観光協会の目的について

- 職員 続きまして議題(2)観光協会の目的について説明をさせていただきます。アンケートをお願いした中で、3観光協会から定款の提供をいただきました。

村上市観光協会は「当法人は、村上市及びその周辺地域との連携のもと、観光事業の振興と、国内外からの観光客誘致を促進し、もって村上市の地域経済の発展と市民生活の向上に寄与することを目的とする。」

栗島観光協会は「この法人は、この地域に存在する地域資源を磨き、最大限に活用するとともに、この地域の様々な産業や島民活動を繋ぐことにより、地域ブランドの形成、地域経済の活性化、交流人口の増加、移住の促進及び島民の「住んでよし」の誇りの醸成を図り、もって持続可能な地域づくりに寄与することを目的とする。」

五泉市観光協会は「本協会は、五泉市及びその周辺地域との緊密な連携のもと、観光宣伝及び観光客の誘致並びに観光客に対する情報提供を行うことにより、国内外からの観光交流を促進し、もって五泉市の地域経済の振興及び文化の発展向上に寄与することを目的とする」

以上のとおりとなっています。阿賀野市観光協会の目的についても、今後検討委員会で協議を重ねる中で、目的を決定し、またその細部については観光ビジョンに記載をすることによって、その目標に向かって業務を進めることとしてはどうでしょう。

- 委員長 何かご意見ありますでしょうか。
次の議題に移らせていただきたいと思います。

(3) 観光案内所の設置について

(4) 観光協会事務室の設置場所について

(5) 観光情報の共有について

- 委員長 次の議題にはありますが、関連もあることから(3)から(5)まで一括して事務局より説明願います。

○職員 議題（3）観光案内所の設置について、から（5）観光情報の共有についてまでを一括して説明をさせていただきます。

観光案内所の設置については、回答いただいた全部の観光協会が観光案内所を設置しており、ほとんどが観光協会の事務所と併用している回答となりました。

以前の検討委員会でも話題に上がりましたが、休日での対応を考えると、案内所と事務所が一緒になっていた方が、人件費の面で運営上効率がよいかと思えます。別々の場合、案内所に1人、事務所に1人ということで、休日に2人配置をすることとなるため非効率的と思われる。

また、設置場所については、どこに設置をしていますかといった問いに対しては、観光協会の事務所と同じというところが、4つ。その他観光施設内というのが1ヶ所になっております。結果から、案内所と事務所が一緒にしてる観光協会が近隣では多い傾向となっております。

続いて観光協会の事務所の設置場所についてです。今回のアンケートに協力をいただいた観光協会のいずれも、事務所は行政の観光担当とは一緒ではありませんでした。メリットやデメリットを記載させていただきましたが、やはりお互い近くにいることは連携する上で重要だと考えていますが、双方入る事務所となると、制限されることとなります。前段を参考としまして、阿賀野市観光協会の観光案内所を今後どの場所で、どの施設を利用していくのかを詰めていったほうがよいと思えます。

また、設立当初の事務所が隣であれば業務をサポートできます。デメリットとしては広い事務室が必要になってくることです。

以上のことから、観光協会の事務局と商工観光課が同一の敷地内に事務所を設置するメリットは大きいのですが、双方が入る事務室が制限されてしまうというところがあります。そのため、同じ敷地内に観光協会の事務局の設置を希望する場合は、事前に施設を探す必要が生じてくることとなります。

続いて、（5）の観光情報の共有についてです。前回、前々回も話があったのですが、観光案内所で観光情報を把握してあれば、問い合わせ先は一カ所で対応ができます。観光協会と行政の情報共有の方法としては、その都度情報共有であったり、週1回の定例会の開催をしてるほか、電話やメールでの共有がありました。これについては、事務所の設置場所によって決まってくることから、観光協会の観光案内所の場所が決まった時点で考えることにしてはどうでしょう。

私からは以上になります。

○委員長 ありがとうございます。今の説明で、ご意見ありますでしょうか。

○副委員長 どこに設置するかということを考えるときに、観光協会が一番肝となる仕事、何をしたら一番この目的に沿うような、観光や誘客が一番の優先順位だとするならば、それが肝となるのか。例えば市の方との連携であるならば、そのようなロケーションにすることが大事だと思います。やらなければいけない一番コアになる仕事がある何か見えてこないうちに事務所をどうしようと議論し、他の観光協会がやってることを後追いしても違うかもしれない。そもそも絶対事務局が5人必要かということも分からないです。スキルの高い人が橋渡しの動いてくれるとか、コミュニケーション能力が高いとかであれば、逆に環境の良い道の駅に置いておくことも良いのではない

でしょうか。個人的には、瓢湖水きん公園のところにあつたりしても良いのでは。一番最優先の課題は何かっていうことと、目的目標がそこにある限りは、それをどうやって達成するか。それを達成するのに一番いい場所を選んだ方が良いと思います。

○委員 以前の構想で、指定管理者制度を利用して観光協会の事務所を置くと言った話もあった。再検討する余地があのであれば。道の駅だと運営スペースが限られて、でも、観光案内所ぐらいだったら何とか設置はできるのではないか。やっぱり、観光地であるところに、事務所を行政と一緒に出てきていただくことも可能なのか。

○職員 道の駅のあたりに持てると一番いい。委員長ともお話をさせていただいた。

○委員 道の駅もなかなか厳しい状況の中で、スペースそのものがあるのか。できれば先ほど副委員長が言うように観光地の近くにあって方が誘致や誘客がしやすいと思う。

○職員 指定管理ということで考えれば、リズムハウス瓢湖の辺りも可能性としてはある。

○委員長 観光協会の事務所を。

○職員 事務所を置いて指定管理を受けて、そこで宿泊業を行いながら、事業収入を得るという形態。

○委員 観光協会が民営化したときに、商工観光課と観光協会と商工会の観光部会がそれぞれ何をやるのか見えてこない。

○職員 そのお話の中で、観光協会は何をするのか。役割りが決まって、何をするのか、目的を推し進めるためには、先ほど副委員長が言ったように、どの場所が一番適しているのか。まだ観光協会が何をするのか決まっていない。

○委員長 商工会の観光部会は何をするか掲げていますか。

○職員 観光協会と連携を図って阿賀野市の観光振興に協力していくこと。観光協会と観光部会が別々の方向を向いていくのはよくないので、市も含めて観光のビジョンというものを作って、協力活動していく。

○委員長 そうですね。

○委員 商工会は研修系というか、支援という事業多いですね。

○委員長 ある意味住み分けは絶対必要。きっちり分けてやらなければいけないと思うけども、共有は常にしておかないとだめですね。

○職員 検討委員会も、商工会からも出席をいただいているので、そういう意味で、情報共有を図っています。

○委員長 無視するという言い方はちょっと言葉として不適切だと思うんですが、観光協会をこういう形で作ってます。情報共有しながらどんどん進めてった方がいいと思います。まず今の思いを形にしていってほしい。これをクリアすると結構進むと感じています。

○委員 商工観光課と観光協会は今まで通りでいいのでは。

○委員長 設置場所からある程度、詰めていかないと駄目ではないでしょうか。

○職員 三条市も観光協会の独立を今考えてるということで、阿賀野市に視察に来ました。いきなり独立するのは難しいみたいで、事務局の移行期間が何年か必要。加茂市からは、阿賀野市の総会資料見ると、組織は結構しっかりしている印象ですね

と言われた。

○**委員長** 仮にそうだと、今の組織が外に出ても大丈夫だという組織だとしても、今言ったように、観光協会が新しくできます。募集してその人たちがやりますというわけにはいかない。今の人達がいるからその組織が成り立っているんであって、その組織が独立した場合に、その組織の中身の人達をどう、移行するのか。

まず場所ですね。案内所の設置、観光協会の事務所をどこにするかというところをまず決めて、道の駅以外に案内所を考えられるのか。

○**委員** 道の駅か代官所かリズムハウスしかないのでは。

○**委員長** 他に何か意見ありますか。今3か所出ました。

○**委員** リズムハウスという案が出たのですが、水原地区では宿泊施設がありません。そこを観光協会の事務所にして宿泊を再開するのであれば水原にとってありがたい。商業と商工観光課が一体となるためにもよいと思います。商工観光課が市役所から出て、1ヶ所で事務をするのであれば引き継ぎもうまくいく。リズムハウスで事務をするスペースがあるのか。一番大事なところである。

○**職員** 2から3人ぐらいで一杯になります。昨年も水原駅の駅舎内を使わせていただけないかとJRと打ち合わせ、協議したんですけども重要な信号の設備とかがありダメでした。

○**委員** 案内所はもう道の駅一択だと思うんですが。やっぱり外から来る方に対しては一番いいと思う。

○**職員** インフォメーションのところがありますが部屋という部屋ではないです。

○**委員** 白鳥会館はどうなっていますか。

○**委員** 3階は事業者が入っています。2階が水回りとかも壊れていて、修理にかなりのお金がかかると聞いています。

○**委員** 白鳥の里はどうか。

○**職員** 白鳥の里も空いています。

○**委員** 修繕する予定は。

○**職員** 今はありません。

○**委員** リズムハウスしかどちらにせよ、リフォーム前提で考える必要があるのではないのでしょうか。

○**委員長** 観光協会が独立すると、商工観光課の職員が減りますって言ったら今までと同じこと。

○**職員** 地域おこし協力隊から1年間商工観光課に在籍し、事務移行の期間として、2年目で観光協会の事務をしていただく。1年かけて移行期間という方法もある。

○**委員長** 1年間でどうなるかわからない。また、指定管理料なり収入となるものがある場所がいいと思うが。

○**職員** 他の観光協会では、企画してその事業収入を充てたり、旅行業の事業収入とか、法人になれば受託とか、観光案内所の運営というところで行政から委託費もらってやっています。加茂市の観光協会は独立しているんですが法人化はしていません。任意団体だと、行政の入札とかに参加することができないそうです。

○**委員長** その先の収入に繋がるような体制にできるんだったら絶対法人化した方がよ

い。

○職員 収入は必要になります。

○委員長 あかまつ荘はどうですか。

○職員 募集はしていますが。事務所としてやる可能性もありますが、温泉での収入無理だと思います。

○委員 例えば市から観光協会が受託できるような事業はありますか。

○職員 いろんなケースによると思いますが、それなりの体制が必要です。

○委員長 ここである程度決めなければいけないのですか。

○職員 ここを決めなくてもいいですが、事務局にこれを調べておいてほしいと言っていただければ、資料を調べて、次回の検討委員会で皆様に提出させていただきます。事務所の位置であったり、地域おこし協力隊の詳細な部分であったり、業務の棲み分けの部分、観光協会と行政と商工会との住み分け部分。当協会の事業を立ち上げるために、定款であったり、その収支の部分であったり。

決めるために参考にしたい事柄について指示いただければ次回までに調べます。

○委員長 さっき観光案内所の設置があったじゃないですか。

○委員 リズムハウスを観光案内所にするのはありだと思います。

○委員 観光案内所と事務所を併設で開設しても良いのでは。

○委員 道の駅も目的地にしているけれども、そこから市内に回遊していただくようなコンセプトもあるべきだと思う。

○委員 人を配置しなくてもモニターだけでも視覚的に発信できる部分もあるのでは。

○委員 地域おこし協力隊が今まで定着しなかった。国が定めている給与が安く、バイトしないと生活していけない。スペース上の問題があるのであれば事務所と観光案内所を分散化してもいい。リズムハウスの宿泊の事業収入もいいけど、不確定要素が多すぎて予算的にはもれないと思う。そうなってくると会費収入と市からの補助でどこまでできるか考えないと無理かな。

定款の目的については大枠で決めて、細部の部分についてビジョンとして作り上げていく方が良いのでは。目的からすると誘客を図って、誘客したお客様との交流人口を増やし、それをまた二次効果、三次効果と街の活性化や経済効果に当てはめていくイメージでどうか。

○委員 目的はどこの観光協会も連携と観光客誘致と地域ブランドの強化。言葉の表現の仕方だけ。

○委員長 むしろ、何をやるかの方が大事。

○委員 この目的とビジョンがリンクしていないと予算要求でも発言力としては弱くなる。その方向に進むために財政に補助金をくださいというのが一番よい。

○委員 案内所はやっぱり道の駅を第1候補で考え、事務局に関しては商工観光課と一定期間一緒に事務を進める。代官所にしても、リズムハウスにしても事務所にするには何かしらの手を加えなければならない。あと行政から実際どのくらい補助金いただけるのか確認してほしい。

○職員 行政からの補助金という部分は、ビジョンがあってその方向に進むために必要な経費なんだという言い方になる。なので、今行政がどれくらい補助金を出せますか

というのはもう少し先の話になるかと思う。

- 委員 補助金を決定するためにはまずビジョンを詳細まで詰めないといけないことですか。
- 職員 そうです。例えば人件費でどれぐらい掛かります。あと事業として、この事業とこの事業でおおよそどれぐらいのお金が掛かります。何かやりたいんで、これだけくださいというのは100%通らないので、今の中でどう積み上げ、何の事業で、祭りで、情報発信で、新たな事業でと見積もりをもらい、大体これぐらい掛かりますと要望し、そのうち、8割とか、9割とか、7割でとなります。その時のバックデータとしてビジョンがあって、このビジョンを進めるために、これを実施したいんですと。財政も厳しくて裏付けを作っていないと補助金ができません。
- 委員長 事務所の設置場所という話もいくつか出ましたが、ほとんど手直しが必要と感じます。そのあたりの予算は確保できますか。
- 職員 財政部局との交渉になります。現在市役所内は手狭です。もともとは水原町役場の職員数で設計してあるので、京ヶ瀬支所、笹神支所で探す方法もあります。笹神支所であれば、3階と2階が空いています。
- 委員長 笹神支所が一番経費が掛からないと思われる。他に次回までに事務局に調べてほしいものがあれば意見をいただきたい。
- 委員 この法人設立にあたり会費とかはどうなりますか。
- 職員 今後の話になります。会費の有無、金額については今後検討委員会などで協議していただきたい。会員からの会費の収入も大事な収入になってます。
- 職員 今で約280万円になっています。
- 副委員長 それは確実な収入になるので、必要ではないでしょうか。
- 委員 補助金の申請で、今まで観光協会ですべてのイベントと人件費としてどれくらいまで出してくれるのか。
- 職員 1,000万円貰えたとするならば、今と同じような事業は難しです。委員長が言う通りに職員が変わるので事務や事業がスムーズに動くかは不明です。
- 委員 今回の試算で平均1,600万円ぐらいの人件費、観光協会の補助金1,000万円、合わせ2,600万円の見込みは立てられるですか。
- 職員 見込みは立てたいとは思いますが。
- 職員 今年は1,147万円の予算がつかいましたが、他の観光協会ですらこれだけ補助金を受け取っているところは多分ないです。今の状態でも人件費が付いているみたいな言い方でもいいんじゃないかなみたいなどころもあります。
- 副委員長 職員さんにリクエストなんですけど、たたき台を何か作っていただきたい。多分初年度ぐらいは独立したとしても、コミュニケーションを観光協会と行政がとらないと相乗効果が出ないような気がしています。色々な案があるかと思うのですが、案の1つに、事務所と案内所を別にする、事務所は市役所の中、そして案内所は例えば道の駅だと、案内所は直接人の動きとか、お客さんとの接点になるので、そちらからの情報も取得できます。そして市役所の中ではこれからの戦略を練っていったほうが良いと思います。
例えば、物を売って事業収入とか、お土産としての需要があるのでは。そんなこと

を含めて、作戦を練るのに一番いいのは、市役所の中でコミュニケーションが取れるようにして、そして、何か相乗効果が出るのかなと思います。現実的かどうかはちょっとわかりませんが、たたき台を作成していただきたい。そして時限的に職員を出向させるなどのサポートがあることが一番大事な事なのかなと思います。単に近くにいるだけでなく、市役所側が現実バックアップしてくださる体制も含めて作成していただきたい。

- 職員 仮に事務局長は市役所の職員が出向しますとした場合、事務局長の件費を抑えることはできるのでは。
- 副委員長 事務局長が若い子で、SNSの発信とかが得意な人とかいけばいいのでは。
- 委員長 次回までに事務所をどこにするかという幾つか候補が出てきたので、その場所を使用するために必要な修繕費を算定してほしい。ざっくりで問題ない。そこで現実的かどうか確認する。
- 職員 調べてみます。
- 委員長 そこでおおよそ確認したい。
- 職員 先ほど上がっていた道の駅、代官所、リズムハウス等その他にも事務局で探してみます。
- 委員 先ほど観光協会の運営費を捻出するために、いろんな事業を実施したりと説明がありましたが、行政から補助金をいただき、会費も大事な運営費になるが、商工会の事業を請負って、その委託費も収入源としている事例がないか。運営費を賄うのに単発のイベントで、利益を上げるのはなかなか大変だと思うし、リズムハウスの事業でも果たして運営していけるのかというのも疑問に思うし。やっぱ恒久財源がないとなかなか難しいと思う。せっきゃ観光協会の設立に、商工会観光部会と連携して何か出来ないかと思っています。
- 委員長 次回までほかに調べておいてほしいことはありますか。意見がなければ事務局にお返しします。
- 職員 ありがとうございます。それでは次第5その他の意見ございませんでしょうか。

委員の皆様におかれましては長時間にわたるご審議、大変ありがとうございました。次回の検討会になりますが、9月頃に開催をしたいと考えております。今ほどいただいた内容を次回まで整理させていただき、次回に向けて準備を進めさせていただきたいと思っております。改めて日程調整をさせていただきますので、宜しく願いをいたします。

以上をもちまして、第3回阿賀野市観光協会設立検討委員会を終了させていただきます。資料につきましてはお持ち帰りいただきまして、次回以降もご持参いただきますようお願いいたします。

本日はお疲れ様でした。